

【科目名】内科学		【担当教員】大澤 源吾							
【授業区分】 専門基礎分野（臨床医学）	【授業コード】 2-12-03150-0-1	(メールアドレス)							
【開講時期】2年次 通年	【選択必修】必修	(オフィスアワー)							
【単位数】2単位	【コマ数】30コマ	月曜～水曜, 10時～16時							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 今後、リハビリテーション以上を学ぶうえでの基礎となる科目です。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 「医療概論」、解剖学、生理学、病理学、生化学などの知識と結びつけるよう努力する。									
【講義概要】 (目的) 基本的な内科学を講義する。総論として疾病の概念、診断学の基礎、加齢により生ずる変化の理解を目的とする。 (方法) 疾患の病態、診断法、治療法の概略の理解なども加味して行う。リハビリテーション医療では、循環器、呼吸器、代謝、内分泌、神経、血液、腎・泌尿器、老年期疾患などが直接的あるいは間接的に運動障害に関与する場合も多く、これらの病因や病態、治療や予後について学修する。									
【一般教育目標(GIO)】 ・PT・ST・OTの仕事の円滑に行うためには、常にその対象であるヒトの全身的な病態を正確に把握する。 【行動目標(SBO)】 ・代表的な病態の概略を理解し説明できる。									
【教科書・リザーブドブック】 奈良勲・熊倉雅子他「標準理学療法学・作業療法学 内科学」第3版 医学書院 ¥6,300									
【参考書】									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 本講義に関する記述式試験を実施する。 100点満点で60点以上を合格とする。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		100	0	0	0	0	0	0	100点
評価	取り込む力・知識	100	0	0	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造の力								

平成 26～28 年度入学者用

指 標	コラボレーションとリーダーシップ							
	発表力							
	学修に取り組む姿勢							
【授業日程と内容】								
回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時 間 (分)				
1	循環系のあらし、高血圧、動脈硬化	講義		60				
2	狭心症、心筋梗塞、心臓リハビリ	講義		60				
3	心内膜炎、弁膜症、心筋症、心不全	講義		60				
4	心電図、不整脈	講義		60				
5	呼吸器系のあらし、呼吸感染症、肺炎	講義		60				
6	肺結核、肺がん、中皮腫、大気汚染	講義		60				
7	COPD、DPB と間質性肺炎、スパイログラム	講義		60				
8	異常呼吸、喘息、呼吸不全、呼吸リハビリ	講義		60				
9	消化機能のあらし、嚥下障害、食道疾患	講義		60				
10	上部消化管の炎症、潰瘍、癌	講義		60				
11	腸炎、大腸がん、下痢、便秘	講義		60				
12	肝炎、腹水、肝がん、肝不全、黄疸	講義		60				
13	胆石、急性膵炎、腹痛	講義		60				
14	造血と貧血、多発性骨髄腫	講義		60				
15	白血病、悪性リンパ腫	講義		60				
16	出血と止血、出血性要因	講義		60				

平成 26～28 年度入学者用

17	糖尿病とインスリン分泌、合併症	講義	60
18	高脂血症、高尿酸血症	講義	60
19	視床下部、下垂体、尿崩症	講義	60
20	甲状腺疾患、カルシウム代謝、骨粗鬆症	講義	60
21	副腎疾患、カリウム代謝	講義	60
22	尿生成、急性腎不全	講義	60
23	腎炎、ネフローゼ、酸・塩基平衡	講義	60
24	CKD、慢性腎不全、透析療法	講義	60
25	腎盂腎炎、尿路疾患	講義	60
26	免疫とアレルギー反応、自己免疫	講義	60
27	膠原病、リウマチ疾患	講義	60
28	類縁疾患	講義	60
29	感染症と免疫不全、エイズ	講義	60
30	発熱、新興・再興感染	講義	60

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。